

# 教育を考える

教育を受け、学びの体験を積み重ねていくことで、人は初めて自らものを考えていくことが可能になります。また、そのことによって社会性や人間性を獲得し、成長していきます。そういった意味で、教育とは、人間が生きていく上で必要不可欠な営みのひとつだと言えるのではないのでしょうか。

京都大学教育学部・教育学研究科では、そんな教育を学問対象として研究するとともに、教育と実践の場を往還しながら、日々の活動が行われています。今回は、教育学研究科の教員4名が、哲学・心理学・社会学など様々な側面から「教育」について広く深くお話しいたします。

第1回

2/6 (水)

『大学入試を生涯学習  
という観点から考える』



大学で学びたい人が増えていますが、その最初の関門は入学試験です。現在、京都大学を始めとして、多くの大学が入試改革を検討していますが、大学入試は、生涯学習という観点から言えばどのような意味があり、どのような改革が望ましいのでしょうか。学ぶ側の視点から考えてみたいと思います。

前平 泰志

教育学研究科長・教授

第2回

2/20 (水)

『臨床の知  
—心理療法の実践から』



少子高齢化・高度情報化社会を生きる現代という時代に、人間の「こころ」はどこに向かっているのでしょうか。このような時代に「こころ」が生きるために必要な「知」とは何なのか。心理療法の実践知から考えてみたいと思います。

皆藤 章

教育学研究科教授

第3回

2/27 (水)

『三つ子の魂、どんな魂？  
—幼児期の心の発達を探る』



蝶々がかつて青虫であったことを忘れた顔をして飛び舞っているように、昔は子どもであったことを大人はすっかり忘れていきます。この講演では、発達心理学の最新の研究成果を参照しながら、かつての私たちの姿である幼児の心理に迫ります。

子安 増生

教育学研究科教授

第4回

3/6 (水)

『才を見極める  
—教育哲学の観点から』



才を見極めることは、教育の主眼であるばかりでなく、国家や世界の命運を左右するほど重要な事柄です。古今東西の教育思想や哲学を手がかりにしながら、21世紀に問われるべき事柄について考えてみたいと思います。

鈴木 晶子

教育学研究科教授

〔開催場所・問い合わせ先〕

京都大学 東京オフィス

東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 27 階

〔TEL〕 03-5479-2220 〔FAX〕 03-5479-2221

〔E-mail〕 t-office@www.adm.kyoto-u.ac.jp

〔URL〕 <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/>

※講演時間…各回とも 18:30~20:00

〔申込方法〕 ※全4回のシリーズですが、1回のみ申し込みいただくことも可能です

京都大学東京オフィスのホームページから申込用紙をダウンロードし、メールまたはファックスでお申し込み下さい。

各回定員 100 名とし、申し込み締め切りは 1月28日(月) となります。

なお、定員を超えるお申し込みをいただいた場合は、抽選とさせていただきます。

